

大蛇パレードに会津の町も大興奮！
世界一の大蛇に
沿道から拍手と歓声の嵐！
 ~ ふくしまフェスティバル in 会津 ~



5月26日、福島県の地域経済の復興を支援する目的で開催された「ふくしまフェスティバル in 会津」に、村の大したもん蛇まつりが参加しました。村からは200人以上の担ぎ手が参加したほか、国際ボランティア学生協会EVUSAの学生30人も応援に駆けつけてくれました。

フェスティバルには、弘前ねぶたまつりや佐渡おけさ、沖縄全島エイサーまつりなど日本を代表するまつりが参加。その中でも、わらと竹で作られた全長82・8尺の大蛇は観客の目をくぎ付けにし、その姿に約5万人の観客でうまつた会津若松市内のパレードコースでは拍手と歓声が鳴り響いていました。

大蛇パレードに参加した齋藤瑞綺さん(上関)は、「フェスティバルには友達に誘われて参加しました。村民の方やボランティアの学生の皆さんと交流できて楽しかったですし、福島の方たちがとても盛り上がりつつあったので嬉しかったです。機会があればまた参加したい」と話していました。

郡市ポンプ操法競技会
関川村(九ヶ谷隊)が優勝

6月24日、グリーンパークあらかわ(村上市)を会場に郡市ポンプ操法競技会が行われ、関川村消防団(第2分団九ヶ谷隊)が2位に8点の大差をつけ見事優勝しました。

第2分団九ヶ谷隊は、8月5日(日)に同会場で行われる県大会へ出場します。

大会結果

小型ポンプの部

優勝 関川村消防団

準優勝 朝日方面隊(下新保)

第3位 山北方面隊(北中・北黒川・荒川)



第2分団九ヶ谷隊選手紹介(敬称略)

新野大二郎(金丸)・石山真太郎(下川口)・

石山竜太郎(下川口)・八幡 忠隆(片貝)・

伊藤 浩昭(聞出)



「夢をもつことは素晴らしいこと」

若手官僚から子どもたちへメッセージ

国家公務員の地方自治体実地研修で村へ訪れていた若手官僚3人が、5月31日、関川小学校と関川中学校でキャリア教育を行いました。関川小学校では、子どもたちの職業観を育て、夢をもってもらおうと5・6年生を対象に、子どもの頃に抱いた夢や今の仕事に就いたきっかけなどについて話し、子どもたちへ「夢をもつのは難しいことかもしれない。でも夢をもつことは素晴らしいこと。熱い気持ちだけはもっていてほしい」とアドバイスを送りました。

大島英さん(6年・上野新)は「先生たちは中学生の頃から夢に向かって熱心に取り組んできた。将来、メカニックデザイナーになりたいという夢があるので、その夢に向かって自分も一生懸命頑張りたい」と話していました。

第39回 関川マラソン大会に約900人がエントリー



「第39回関川マラソン大会」が、6月17日、安角ふれあい自然の家を会場に行われました。

当日は、朝から小雨が降りしきるコンディションとなりましたが、遠くは山口県からの参加者もいるなど、村内外から約900人もランナーが大会を盛り上げました。

数字は順位。1位のみ掲載。ただし、村内参加者は6位まで掲載。敬称略。

3 kmの部

- 小学生男子 -

伊藤 千馨 (宮城県) 11分21秒

渡辺 碧斗 (大島) 12分39秒

- 小学生女子 -

谷間 咲南 (新潟市) 12分15秒

横山 詩乃 (安角) 15分07秒

- 一般女子 -

中澤 陽子 (村上市) 13分45秒

高橋 政子 (小見) 15分08秒

河内保乃華 (大石) 16分44秒

手塚 湖南 (上野新) 16分45秒

5kmの部

- 35歳未満男子 -

鎌田 学 (阿賀野市) 16分55秒

- 35歳未満女子 -

佐藤 万里 (村上市) 19分49秒

大会新

- 35歳以上男子 -

鬼島 政春 (阿賀野市) 16分39秒

- 35歳以上女子 -

谷間 陽子 (新潟市) 20分02秒

- 50歳以上男子 -

山田 勲 (新潟市) 18分16秒

15kmの部

- 35歳未満女子 -

澁谷 佳代 (新潟市)

1時間05分20秒

- 35歳以上男子 -

岩崎 覚 (上越市) 54分21秒

- 35歳以上女子 -

渡辺 美里 (新潟市)

1時間07分56秒

- 45歳以上女子 -

田中 友子 (新潟市)

1時間09分05秒

- 50歳以上男子 -

永井 恒 (静岡県)

1時間01分24秒

- 60歳以上男子 -

坪谷 朝秋 (加茂市)

1時間04分39秒

大会新

5kmの部

- 中学生男子 -

奈良橋 駿 (村上市) 18分26秒

五十嵐大地 (上川口) 19分26秒

15kmの部

- 35歳未満男子 -

松井 勇志 (新潟市) 52分48秒

訪れる方々に

花で精いっぱいのおもてなしを

大石ダム花いっぱい活動



6月2日、大石ダム周辺を花でいっぱいしようとして、大石・山と川に親しむ会(高橋八男会長)の主催で「大石ダム花いっぱい活動」が行われ、大石・金保集落の大金老人クラブの会員約30人が参加しました。

この日準備された花は、マリーゴールドやサルビアなど600株で、これは新発田市にある障がい者授産施設「希望の家」の利用者が一生懸命育てたもの。参加者はダムの堤頂240個の間に置かれた200個のプランターに一株ずつ丁寧に花を植えました。

活動に参加した高橋博さん(金保)は「観光に来る方に喜んでもらえたら思いながら、毎回活動に参加しています。例年、7月の大石ダムまつりの頃きれいに咲くので、ぜひたくさんの方に来てもらえたら嬉しい」と話していました。

色鮮やかな花が皆さんをお出迎えますので足を運んでみませんか。